

角館のお祭り

「角館祭りのやま行事」

9月7日・8日・9日

秋田県仙北市角館町

角館のお祭りの
あらまし

軽快なおやま囃子、秋田おばこ達の艶やかな手踊り、そして勇壮なやまとづつで名高い角館の祭り。約四百年の伝統を誇り、平成三年に「角館祭りのやま行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。



ユネスコ登録証明状



それは神を迎え、
共に楽しみ分かち合うハレの日。
勇壮かつ華麗に、
今年も伝承の祭りが
みちのくの小さな町で
繰り広げられる。

16:00
角館神明社参拝



全曳山が神明社に参拝、囃子と踊りを奉納します。長い石段の上にある拝殿で責任者(白タスキ)が参拝。若者達は頭を垂れてお祓いを受けます。全曳山が参拝を終えるのは深夜に及びます。

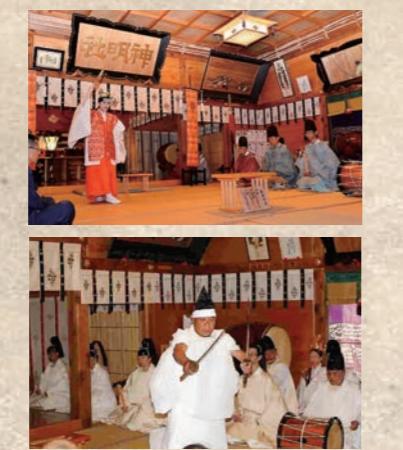
20:00
角館神明社例祭
「宵宮祭」



各曳山の参拝・奉納が続くなが、拝殿では宵宮祭が行われます。

10:00
角館神明社例祭
「当日祭」

例祭は神明社最大のお祭り(9月7日・8日)。本殿の扉が開かれ拝殿にて雅楽と共に修祓の儀、祝詞奉上、玉串奉典、神樂奉納など2時間に及ぶ例祭が厳かに執り行われます。曳山参拝の受付は午後4時からです。



9月7日
神明社例祭
「当日祭」「宵宮祭」

神明社に全曳山が参拝。
一列棒状に並ぶ様は圧巻。

7日のやま行事概要

午後4時、のろし火と共に張番が開かれ、曳山が町南側にある神明社に向けて動き出します。この日は神明社参拝が全曳山の大目的。一列棒状に並ぶ様は圧巻。



角館總鎮守 神明社

お祭りのみならず初詣などでも多くの参拝者が訪れる天照大神を祀る伊勢信仰神社。地域では古くから「お伊勢さん」と呼ばれ、角館總鎮守として信仰を集めています。9月7日に例祭当日祭・宵宮祭。8日に例祭神幸祭が行われます。

張
はりばん
番



また、曳山への運行指示の権限もあります。
まず丁内に入るためには張番の許可が絶対条件で、曳山を境界手前で止め、交渉員が入ったときもきちんと、お供え物を置き、厳かに進行をお迎えします。

また、曳山への運行指示の権限もあります。

張番は祭りにおいて絶対的な権限を持つ一方で、祭りの華である曳山のスムーズな曳き廻しを演出する調整役(裏方)でもある

時代から丁内単位の強い自治意識があり、当番・門番のように祭典行事の調整や維持管理、保安等を行うために「番を張る」から張番と呼ばれるようになりました。張番の許可が下りると丁内を賑やかしながら運行し、張番に通りを披露し、境界を出るときもきちんと、おとまご挨拶をして次の丁内に進行します。丁内運行中も状況変化やトラブルが起きた場合は張番に赴き報告や支持を仰ぐのがしきたりです。

その丁内の祭典行事全てを取り仕切る権限を持つのが張番です。呼び名の由来は、角館町は藩政時代から丁内単位の強い自治意識があり、当番・門番のように祭典行事の調整や維持管理、保安等を行うために「番を張る」から張番と呼ばれます。八日には神明社、九日は薬師堂の御神輿が全ての丁内に巡行されます。この御神輿をお迎えする最も重要な役割を担っています。内部には神明社、薬師堂の掛け軸が掲げられ、お供え物を置き、厳かに進行をお迎えします。



神明社例祭
九月七日 当日祭・宵宮祭
九月八日 御神輿渡御祭

角館總鎮守
神明社

<http://kakunodate-shinmeisha.jp/>